

『骨粗鬆症リエゾンの強化へ～整形外科外来の全看護師が自己注射指導～』の記事

整形外科外来 工藤 宏美 看護師(骨粗鬆症マネージャー)

# 骨粗鬆症リエゾンの強化へ

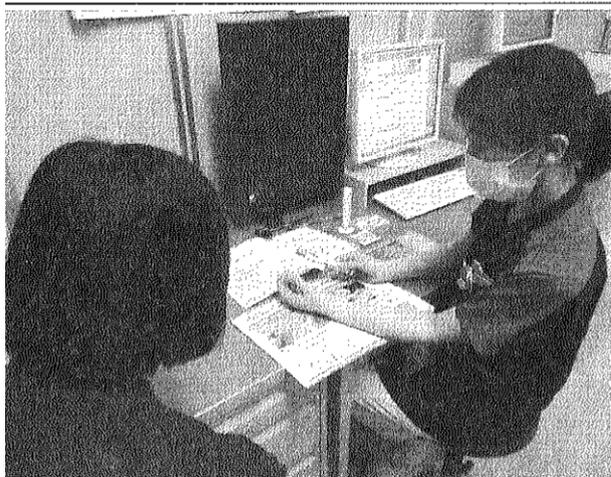
## 全外来看護師が自己注射指導

函館中央

函館市の函館中央病院 スの強化に向けて、整形  
(高田竹人理事長、本橋 外科外来の全看護師に骨  
雅書院長・5つ床 は、 粗鬆症マネージャー主導  
骨粗鬆症リエゾンサービ による自己注射指導を实

施。マネージャーの負担 粗鬆症患者への対応でマ  
軽減や看護師の骨粗鬆 ねーシャの負担増加が  
症の治療継続に対する意 見られた。  
識向上につながり、多職 解決に向け、同外来の  
種連携の動きも見せてい 全看護師が患者に骨粗鬆  
る。 症の自己注射を指導出来  
るプロトコルを作成。自  
己注射剤を使い始める患  
者に対し、製薬会社が作  
成した注射方法のビデオ  
を視聴してもらい、その  
後、専用の注射器やリー  
フレットを用いて流れを  
説明している。

同病院は2019年か  
ら骨粗鬆症リエゾンサー  
ビスを開始し、治療継続  
や再骨折予防の説明に努  
めている。整形外科外来  
では骨粗鬆症マネージャ  
ー2人を含む8人の看護  
師が在籍しているが、骨



リーフレットを用いて自己注射の方法を患者に説明

また副作用やトラブル  
時の対処法を記載した解  
説書を作成し、治療継続  
の重要性や再骨折の危険  
性を全看護師が指導でき  
るようにした。

指導後には説明時間に  
何分要したか、患者や家  
族の誰に説明をしたか、  
説明の際の不明点などを  
記載する記録用紙を用い  
て振り返りを実施。骨粗  
鬆症への意識付けを徹底  
した。

1年8カ月で45人の患  
者に指導を行い、自己注  
射の1年後の継続率を調  
べたところ、マネージャ  
ー2人が57%、それ以外  
の看護師7人が63%と  
大きな差は見られなかつ  
た。

平均説明時間はマネー  
ジャーが23分に対し、そ  
れ以外の看護師が20分と  
短かった。工藤宏美骨粗  
鬆症マネージャーは「骨  
粗鬆症の知識の差から、  
マネージャーの方が説明  
することが多く時間を要  
したと思われる」と説明  
する。

看護師に取ったアンケ  
ートでは、全看護師が骨  
粗鬆症の治療継続の重要  
性や、骨折が寝たきりへ  
とつながることに理解が  
深まったと回答。骨粗鬆  
症に強く興味をもったと

いう声も聞かれた。

現在、同外来では自己  
注射指導をマネージャ  
ー以外の看護師も意欲的に  
対応。患者の問い合わせ  
にも積極的に応対し、マ  
ネージャーの負担軽減に  
つながっている。

今年度マネージャーは  
病棟看護師、薬剤師、理  
学療法士からも誕生し  
人に増員。院内全体に骨

粗鬆症の周知が広まって  
おり、3月に多職種連携  
に向けてマネージャーに  
よる院内講演会を予定し  
ている。

工藤マネージャーは  
「今後もマネージャーを  
増やしつつ、市民に向け  
て講演会を行い、治療の  
継続化や寝たきり防止、  
再骨折予防を広めていき  
たい」としている。